

H21 年度「くらしと土木の週間」記念事業(熊本地区) 実施報告

報告者：広報・地区連絡部会 熊本地区 橋本淳也（熊本高専）

■ イベント一覧

09.11(金)	絵画・写真コンクール 締め切り（7月13日より） （11.1表彰式）（受賞作品は10.30～11.5にゆめタウンはませんにて展示）
10.03(土)	出前授業（嘉島町立嘉島東小学校） （詳細） http://www.dobokunohi-kumamoto.com/images/2009event/demae.pdf
11.01(日)	ワークショップ 私たちが考える熊本駅の未来 ～ 新幹線の工事現場を見て未来のまちづくりを考えよう！ （詳細） http://www.dobokunohi-kumamoto.com/images/2009event/workshop.html （開催状況） http://www.qsr.mlit.go.jp/kumamoto/news/kiji/h21/H211101workshop.pdf
11.14(土)	土木遺跡探訪ツアー （開催状況） http://www.dobokunohi-kumamoto.com/41kumamotocity/bustour.html
11.15(日)	化石発掘ツアー
11.22(日)	地域おこし（清正公と瀬田人くらし展） 土木遺跡探訪ツアー
11.26(木)	現場見学会：九州横断自動車道（嘉島～山都） （開催状況） http://www.dobokunohi-kumamoto.com/images/2009event/genbakengaku.pdf

■ 実施状況

○ 9/11(金) 絵画・写真コンクール 対象者：県内の小・中・高・大学生

県内の小・中学生を対象とした絵画部門、中・高・大学生を対象とした写真部門を開催しました。

テーマは「くらしを支える身近な土木施設」でダム・道路・橋・トンネルなどの施設や作業風景としています。次世代を担う子供たちに土木への興味と関心をもってもらうことを目的としています。

絵画部門 125 点、写真部門 30 点の応募があり、受賞作品をゆめタウンはません（熊本市）にて展示しました。



絵画・写真コンクール 金賞作品（写真部門は金賞該当者なし）



低学年の部



高学年の部



中学生の部

今回は、11月18日の「土木の日」のためのプレイベントとして、平成21年度「土木の日」熊本実行委員会(委員長 溝上教授)と国土交通省熊本河川国道事務所との協力で、嘉島東小学校5年生とご父兄の方たちと一緒に半日スクールの企画です。

1 時間目 「土木ってなあに」 熊本大学 重石准教授

「土木」という仕事について、身近なことから例をあげながら説明。

2 時間目 「加勢川と緑川」 国土交通省熊本河川国道事務所水防対策担当 安部氏

3 時間目 「環境と微生物」 熊本大学 川越准教授

社会環境、特に上水道や下水道といった生活水と微生物とのかかわりについて

4 時間目 「ピカピカどろだんご」 工学部技術部 友田氏、戸田氏、上田氏



人気を集めたのが同省の降雨体験機で、時間雨量を最大180mmまで再現。天井から猛烈な雨が降り注ぐと、傘をさした児童が「うわー」と絶叫した。武田純佳さん(10)は「予想よりも雨が強くてびっくりした。傘をさしてもぬれた」と興奮し

同大大学院の重石光弘准教授と川越保徳准教授の講話や授業もあった。微生物を使った水質浄化作用の実験では、微生物の有無によって、水中の化学的酸素要求量(COD)の変化を調べた。

(野方信助)

豪雨を体験「すごい!!」

熊本大 嘉島東小で出前授業

嘉島町の嘉島東小で3日、熊本大の出前授業を実施した。5年生や保護者ら約50人が「土木の日」の行事に合わせ、同大の関連イベントとして「土木の日」(11月18日)の関連イベントとして

降雨体験機で猛烈な雨を体験する子どもたち—嘉島町の嘉島東小

(熊本日日新聞 2009.10.27)

○11/1(日) ワークショップ 参加費:無料 参加者:35名の親子

一般の人にも土木を身近に感じて頂き、理解してもらおうと、現在、開業に向けて進む新幹線工事と駅周辺整備の現場見学を行い、未来の熊本駅を語るワークショップを開催しました。

一般公募による35名の親子が、午前中は、新幹線駅舎や駅周辺のまちづくり計画について、説明を受け、現場を見学しました。

午後からは、参加者全員によるワークショップを開催し、未来の熊本駅について夢のある自由な意見を出し合い、最後に子供たちがそれらを発表して、楽しく有意義な1日を過ごしました。



○11/14(土) 土木遺跡探訪ツアー 参加費:無料 参加者:80名

御船町(八勢目鑑橋、大平・河内トンネル(仮称)) / 山都町方面(円形分水、通潤橋、千滝川橋(仮称))

今回のテーマは「日向往還新旧対決」で、くまもと四街道の一つ「日向往還」と現在の街道「九州横断自動車道延岡線」の比較を見学しました。前日があいにくの天気となり、予定していた「山屋のトンネル」は行程からはずさせていただいたのですが、それ以外は概ね行程どおり進み、参加者の皆様方には土木技術の進歩を感じていただけたと思います。

また当日は、熊本大学の星野先生、御船町ボランティアガイドの田中さん、山都町ボランティアガイドの本田さん、熊本河川国道事務所の田上建設監督官から丁寧な説明をしていただき、参加者の方々も熱心に聞いておられました。

アンケートを実施しましたところ、九割超の方々が「非常に良かった」・「良かった」との感想を戴き、「また参加したい」という声も多く戴きました。

